

西南暖地で栽培可能な オリジナルリンドウの育成と普及

山口県農林総合技術センター
農業技術部 花き振興センター
専門研究員 藤田淳史



やまぐちオリジナルリンドウ
「西京の初夏」

取組背景

- リンドウは高収益性の水田転作作物として有望
- 最需要期である盆・彼岸時期を含め、切り花供給不足
- 主要産地は岩手県等夏季冷涼な地域
山口県の低標高地での産地化は困難
- 現地からの要望うけて生産者と共同でオリジナル品種育成
- 西南暖地でリンドウを栽培可能とするため高温耐性を付与



全国で最早期出荷が可能な「西京の初夏」の育成



- 2003年 品種育成開始
- 2005年 耐暑性を有する母株選抜
- 2012年 品種登録出願公表・現地導入
- 2015年 品種登録

オリジナルリンドウ「西京シリーズ」



西京の初夏

2014年度品種登録

西京の涼風

2017年度品種登録

西京の夏空

2017年度品種登録

西京の白露

2021年度品種登録

西京の瑞雲

2020年度出願公表

5月	6月	7月	8月	9月	10月
	西京の初夏(促成・半促成)				
	西京の初夏				
		西京の涼風			
		西京の夏空			
				西京の白露	
				西京の瑞雲	

「西京シリーズ」の特長

- 耐暑性品種、高品質
- 鮮やかな花色、多用途性
- 県内外で高評価、需要増加

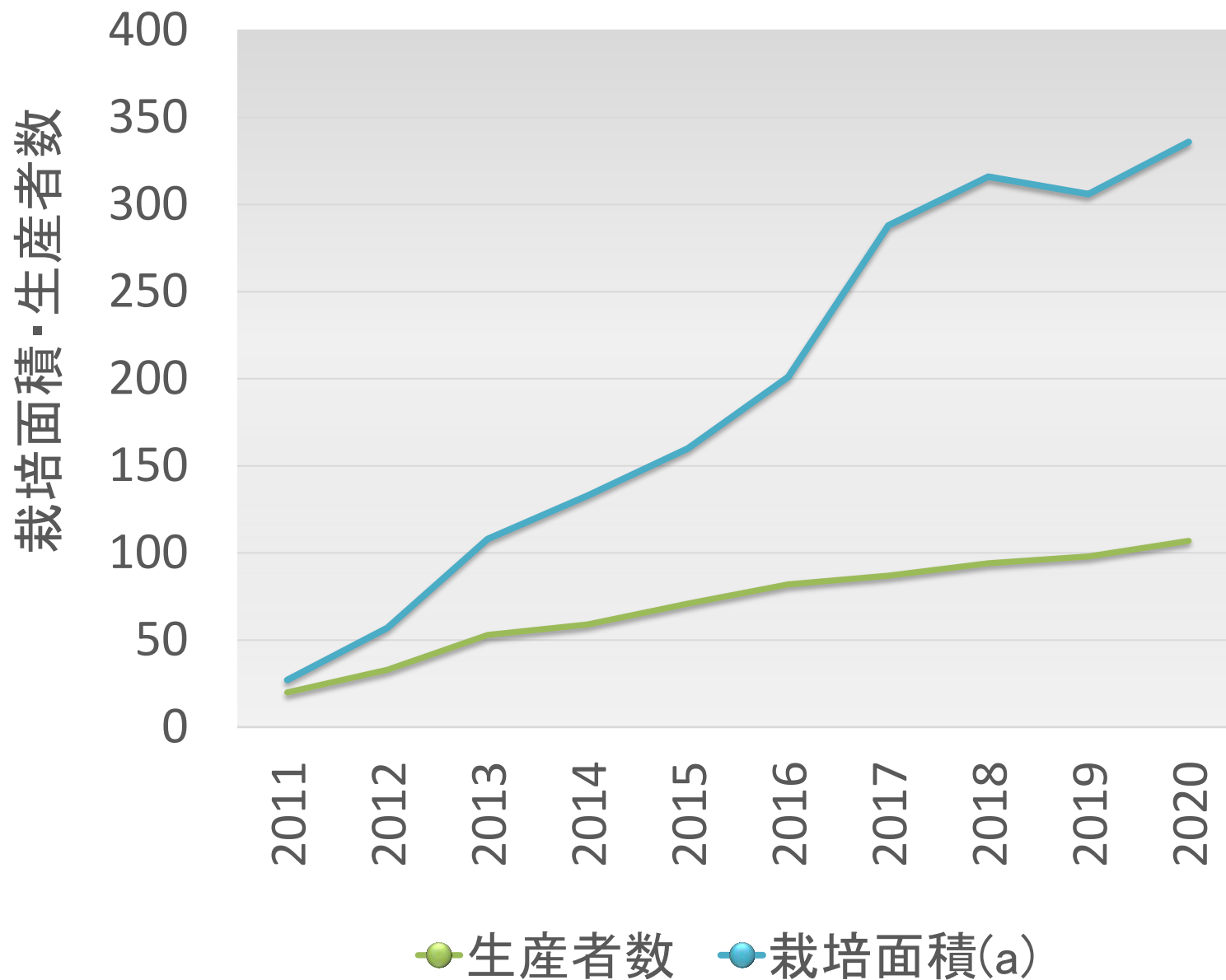


遮光処理による品質向上対策技術の普及

- 欠株率や花卉着色不良症状のさらなる低減軽減を図るため、遮光被覆資材を使用した栽培体系を確立
- 高温期における商品化率向上を可能とするマニュアルを構築



「西京シリーズ」の産地普及



今後の取組



- 収穫期や花色などの特性が異なる品種の育成
- 生産性・品質向上、開花調整等の技術開発
- 出荷予測技術の開発



- 収穫期拡大、労働力分散、面積拡大
- オリジナル花きのブランド力アップ
- 需給マッチング

花き振興に貢献できる取組の推進